

見つめてみよう、今の社会を。

創造しよう、これからの社会を。

今、未来を開拓するのは、僕たちだ。



(公財) 信頼資本財団 × 東北大学



「信頼ギャザリング@仙台」 - 信頼資本を広げるために -

「社会関係資本」と訳される「ソーシャル・キャピタル」を重視していくことが豊かな社会につながっていくと言われて久しいのですが、日本では、その視点が定着することなく経済資本優先のまま今日に至りました。

しかし、所有や自己責任や格差が人々を苦しめ、数多くの社会問題が噴出する中、ソーシャル・キャピタルの視点無くして解決に導くことは難しいとの認識が急速に広がり始めています。

今回は、共催の東北大学においてソーシャル・キャピタル研究を続けてこられた西出優子教授から、ようやく社会認知が高まってきたソーシャル・キャピタルについて学びます。

【開催日】 2019年6月16日(日) 13:00-18:00 ※受付 12:45-13:00

【会場】 東北大学 片平キャンパス Cエリア エクステンション教育研究棟(C07) 6階講義室A

【料金】 無料 ※終了後、懇親会を開催予定(自由参加、要予約/会費 3500円程度)

【詳細・お申し込み】 QRコードからイベントページにお進みいただき「参加申込フォーム」にてお申し込みください。



信頼資本財団とは…

2009年1月から「社会関係資本」を「信頼資本」と名付け、その資本がより多く活用される社会を目指し、主に社会事業に対する無利子無担保の融資事業、助成事業、社会事業家や行政職員に対する社会事業塾の開講を軸に社会事業の支援活動をしています。

また、社会事業の元手(資本)となる、信頼し合える人間関係や知恵のような無形の資産の創出や蓄積、また、それらを同じ未来を目指す仲間同士で共有・交換し合う仕組みや場を創っています。



主催：公益財団法人信頼資本財団 共催：東北大学（経済学研究科西出研究室）



〈主催団体情報〉 京都府京都市上京区室町通丸太町上ル大門町 253 番地

TEL:075-275-1330/FAX:075-275-1340/Email:info@shinrai.or.jp

参加無料

要参加申込

## ■登壇者

くまの えいすけ  
熊野 英介



当財団代表理事/当財団設立者  
アマタホールディングス株式会社  
代表取締役  
一般社団法人ソーシャルビジネス  
・ネットワーク副代表理事

「持続可能社会の実現」を掲げ、他社に先駆け再資源化事業を開始。  
その後、ソリューション事業や地域支援事業を手がけ、環境分野を牽引。  
未来の子供たちの尊厳を守ることをミッションに掲げ、豊かな関係性が動力となる新たな社会の創出に向けて邁進中。  
著書：『思考するカンパニー』（幻冬舎）、『自然産業の世紀』[アマタ持続可能経済研究所共著]（創森社）

にしで ゆうこ  
西出 優子 氏



東北大学大学院経済学研究科教授

沖縄県出身。仙台市在住。2007年より東北大学大学院経済学研究科准教授、2017年より現職。米国留学中に、ソーシャル・キャピタルを世に広めたロバート・パットナム教授の講演会に参加。大阪大学大学院在籍中より、ソーシャル・キャピタルとNPO・市民社会に関する教育研究を行う。  
主な著書に、「Social Capital and Civil Society in Japan」（東北大学出版会）、『はじめてのNPO論』（共著、有斐閣）、『ソーシャル・キャピタルと市民社会・政治：幸福・信頼を高めるガバナンスの構築は可能か』（共著、ミネルヴァ書房、近刊）等。

たかはし ようこ  
高橋 陽子 氏



当財団評議員  
公益社団法人日本フィランソロピー  
協会理事長

岡山生まれ  
津田塾大学文学部国際関係学科卒業  
1986年上智大学カウンセリング研究所専門カウンセラー養成課程修了  
専門カウンセラー認定取得。関東学院大学付属中学校・高等学校でスクールカウンセラーとして生徒・教師・保護者のカウンセリングに従事  
1991年公益社団法人日本フィランソロピー協会に入職、事務局長・常務理事を経て2001年より理事長  
民主主義の健全育成を使命とし、一人ひとりが社会のかけがえのない一員として社会参加をすることで多様性を重んじながら、地域社会などの課題解決のために力を出すことで活力ある社会づくりをめざす。  
フィランソロピーとは人間愛・博愛を語源とし、現在は、「社会の課題解決のために社会貢献をすること」と訳されている。  
著書：『フィランソロピー入門』（海南書房）、『60歳からのいきいきボランティア入門』（日本加除出版）、『社会貢献へようこそ』（求龍堂）など

つちや さだお  
土谷 貞雄 氏



当財団シニアフェロー  
株式会社貞雄 代表  
建築家/暮らし研究家  
都市生活研究所を主催

1960年東京生まれ。2007年に無印良品の家の取締役を経てコンサルとして独立。その後も暮らしの良品研究所など多数の企業の研究所や商品企画室にて研究や商品開発を支援。現代の暮らしについてフィールドワークやアンケート調査、商品開発や執筆活動などを行っている。  
2001年より企業と建築家および研究者による未来の暮らしの展覧会HOUSE VISIONをアジア7カ国で企画運営。2018年の第三回HOUSE VISION北京の終了を機に中国深圳にベースを移し、中国全土の暮らし調査を本格的に開始している

やべ ひろあき  
矢部 寛明 氏



当財団フェロー  
認定NPO法人底上げ 理事長  
東北芸術工科大学 講師

「一宿一飯の恩」で、人生を決めた。  
1983年生まれ。早稲田大学文化構想学部卒。ピリヤードで国体2位の実績を持つ。23歳で早稲田大学に進学。大学時代に行った「ママチャリ日本縦断の旅」で、宮城県気仙沼のある旅館に一晩お世話になった。大学四年時に発生した東日本大震災で気仙沼が被害を受けたと知り、迷わずボランティアとして旅館に駆けつける。内定を辞退してNPO法人底上げを立ち上げ、述べ8000人以上のボランティア窓口となる。「本質的な復興は人材育成にある」という考えの下、現在は高校生への人材育成事業を中心に様々な活動を行う。2016年、底上げはマイクロソフト社「Upgrade Your Worldプログラム」でローカル非営利パートナーとして選ばれる。同年、認定NPO法人となる。2018年4月より東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科講師。

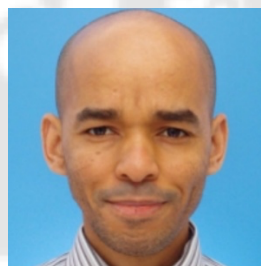
おおた みちこ  
太田 倫子 氏



公益社団法人子どもみらい研究所  
代表理事

宮城県石巻市に生まれる。東京外国語大学アラビア語学科卒業後、三和銀行、森ビル勤務を経て、2011年12月、東日本大震災の経験から子どもたちのつくる・つたえる・つなげる力を育むことを目的に、一般社団法人キッズ・メディア・ステーション（現・公益社団法人子どもみらい研究所）を設立。2012年3月11日、石巻日日子ども新聞を創刊。デスクとして新聞の発行を継続中。

ジェレミー セプテンバー  
Jeremy September 氏



東北大学大学院経済学研究科  
博士課程後期2年

南アフリカ出身。仙台市在住。2015年東北大学大学院経済学研究科博士課程前期入学、2018年同博士課程後期進学。  
現指導教員によるソーシャルキャピタルの著作を読み、ソーシャルキャピタルや社会的インパクトの視点から、日本の地域通貨に関する修士論文を執筆。現在は、持続可能性の視点から全国の地域通貨に対するヒアリング・アンケート調査を実施。  
修士論文題目は、「Japanese Local Currencies: Key Factors for Sustainable Management」。

はやし あつし  
林 篤志 氏



当財団フェロー  
一般社団法人Next Commons Lab 代表

1985年生まれ。ポスト資本主義社会を具現化するための社会OS「Next Commons Lab」をつくる。  
2016年、一般社団法人Next Commons Labを設立。自治体・企業・起業家など多様なセクターと協業しながら、新たな社会システムの構築を目指す。「日本財団 特別ソーシャルイノベーター」に選出（2016）。「Forbes Japan ローカル・イノベーター・アワード 地方を変えるキーマン55人」に選出（2017）。